

～・～・英語で想いを語る会に参加しました。～・～

去る8月26日（日）、午前10時30分からイビデン株式会社本社多目的ホールにおいて、在名古屋米国領事館と共催による「英語で想いを語る会」が開催されました。これは、岐阜県内の高校生に英語で“自身の想い”を語ってもらい、相互理解や若い世代同士の交流を深めることを目的として2016年から始めたイベントで、今回で3回目となります。



会場:イビデン株式会社(本社)



当日は、在名古屋米国領事館ゲーリー・シェイファー首席領事によるビデオメッセージや、河島日米協会会長による挨拶の後、県内から集まった10校が、英語を通して感じたことや経験したことを思い思いに語りました。

参加認定証を河島会長から頂きました。

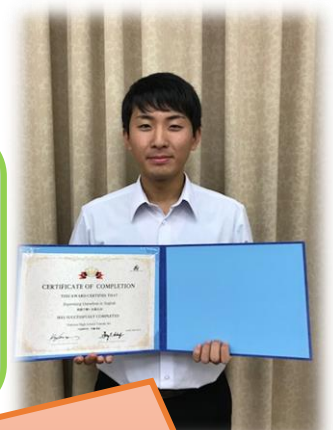
本校からは、第13期旭陵留学生の伊藤智紀さんと小南菜子さんが参加しました。伊藤くんは8月上旬に参加したJAXA名古屋でのインターンシップで学んだ内容を伝えるとともに、日本の航空産業の今後の展望について語りました。伊藤君のプレゼンテーションでは他校にない動画が使われており、参加者の関心を引きました。また小南さんは、カナダ留学中、自身の心に一番残った事柄である「First Nations（原住民）」について歴史的背景、教育、芸術、言語、宗教などの点から写真やデータを用い発表しました。



以下は参加した2名の感想です。



今回、この会を通して、同世代の生徒たちから良い刺激を受けることができました。また、自分の将来の夢への決意を新たにすることができました。この会をきっかけに、自分の夢に向かい努力しようという気持ちが一層強くなりました。(小南菜子)



それぞれの学校が違うテーマを語っていて、その内容が非常にバラエティーに富んでいた。貧困問題、地域のインバウンドについて、長良川の鶺鴒飼いやボランティアなどについて知識を深めることができました。改めて一つのことを突き詰めることは面白いことだと思いました。(伊藤智紀)